

～ 真理の道・誠の道・平和の道～

東 雲



平戸市立度島小中学校

学校だより No.26

令和7年12月24日(水)

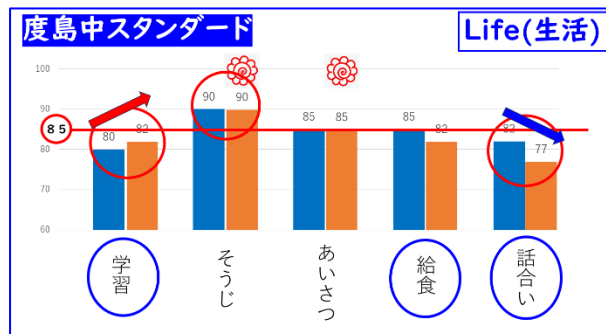
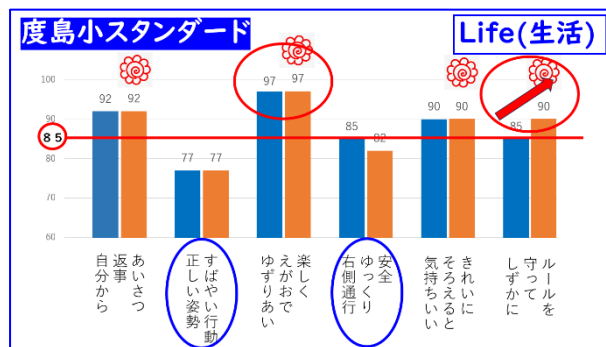
文責：校長 園田栄作

一人一人が考え成長した2学期

～ 不便さを「全力プレー」と「チームワーク」で乗り越えました！～

7 8 日間の2学期の学習を前向きに取り組
み、本日の終業式を迎えた子ども達の表情か
らは、頼もしさを感じました。2学期は、修
学旅行や学習発表会、小学校陸上大会、中学
校駅伝大会、卓球競技新人大会など大きな行
事が目白押しの2学期でした。さらに、校舎
の外壁工事や体育館の天井工事も重なったた
め、学習に集中できにくかったり、練習場所
を移さなければならなかったりするなど、不
便さを強いられましたが、「全力プレー」と「チ
ームワーク」で見事乗り越えることができま
した。逆境でも工夫することで成長できるこ
とを実感したことと思います。ピンチをチャ
ンスと捉え、工夫して取り組んできたことで、
大きな自信となりました。また、もちつき大
会やイルミネーション点灯式など保護者や地
域の方の御協力のおかげで、楽しい行事やイ
ベントに参加することができたことも良い思
い出になりました。たくさんの御協力ありが
とうございました。

御家族で充実した年末年始を過ごし、良いお
年をお迎えください。



ふゆやす
冬休みも

Smile
&
Challenge
&
Life

かぞく しんせき
家族・親戚と

しんねん もくひょう
新年の目標を

かぞく いちいん
家族の一員として



- ① 家族や親戚の人と過ごす時間を大切に、笑顔で過ごしましょう。
- ② 新年の目標を掲げ、目標達成に向け、コツコツと取り組みましょう。
- ③ 家族の一員として、大掃除やもちつきなど自分にできることを考え、取り組みましょう。

終業式、児童生徒代表挨拶

二学期を終えて

小学三年 〇〇〇

ぼくが二学期にがんばったことは、二つあります。

一つ目は、鉄ぼうです。なぜかという、ぼくは、前まで鉄ぼうのわざがあまりできませんでした。だから、くやしくて、昼休みにいっぱい練習しました。そしたら、できるわざがだんだんふえていきました。地球回りやさか上がりもできるようになって、とってもうれしかったです。

二つ目は、せいりせいとんです。なぜかという、ぼくは、きれいにできていないと、すっきりしないし、心がみだれるからです。引き出しやロッカーの中は、いつもせいりしてつかうように心がけました。トイレのスリッパや下駄箱のシューズ、図書室の前にシューズを脱ぐときもきれいにそろえるようにしました。やっぱり、きちんとならべると気持ちがいいです。だから、これからも続けたいと思います。

三学期にがんばりたいことは、あいさつです。あいさつは、してもされてもとても気持ちがいいからです。だから、二学期よりもっとレベルアップしたいです。そのためには、「目を見て」「止まって」「元氣よく」の三つに気を付けてがんばろうと思います。



二学期を振り返って

中学二年 〇〇〇〇

私は、二学期を通して学んだことが二つあります。

一つ目は、期末テストを通して、計画を立ててコツコツと勉強することの大切さを学んだことです。一学期はワークを何周も解いている人が少なく、テスト前にあわてて勉強していた人が多かったため、学年平均があまり良くありませんでした。しかし、二学期は、一学期の反省を踏まえ、やったことクンやタスク表を活用し、一人一人がテスト勉強の計画を立てるようにしました。すると、クラス全体の平均点も上がり、ほとんどの人が目標点を達成することができました。三学期は、冬休み明けの学力テストや学年末テストがあるので、今まで通り、やったことクンやタスク表を活用したり、新しくけいかクンなども使ったりして、全員が一番いい結果を出せるようにしたいです。そして、受験勉強で迷わないように、自分に最適な学習スタイルを確立していきたいです。

二つ目は、駅伝大会を通して、仲間と支え合うことや最後まで諦めない気持ちの大切さを学んだことです。練習の最初は、きつくてつらいと感じる人が多く、気持ちが下がっていました。しかし、みんなで励まし合いながら練習をすることで、全体の雰囲気良くなっていると感じました。そして本番では、仲間の応援がとても力になり、全員が最後まで諦めずに走りきることができました。私はこれから、生活委員長として、よりよい学校作りをしていかなければなりません。なので、この駅伝を通して学んだことを生かして、誰もが支え合う学校作りをしていきたいと思っています。

三学期は、一年を締めくくり、次年度の準備をする学期です。中学一年生は、自分のことは自分でするだけでなく、先輩として後輩を引っ張っていけるようになりましょう。中学二年生は、最上級生になるために、一人一人が自覚を持ち、学習面でも生活面でも後輩達のお手本となるようにしていきたいです。中学三年生はいよいよ中学校生活最後の学期です。悔いのないように頑張ってください。